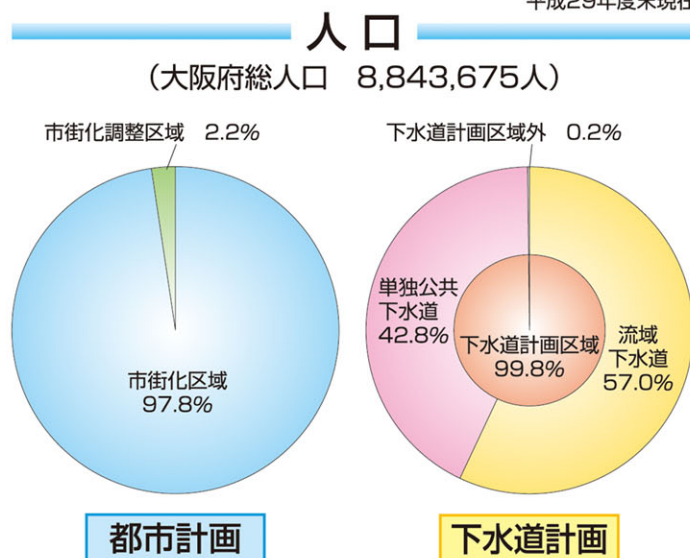
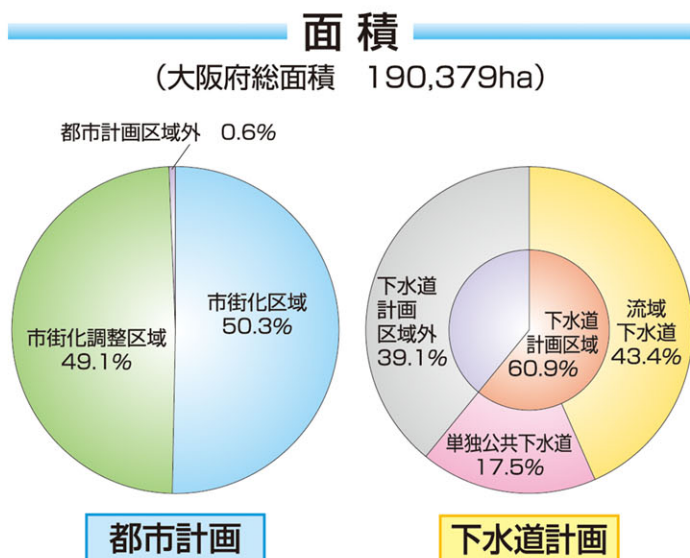


# IV. 下水道事業の主な取組

## ① 都市計画と下水道計画

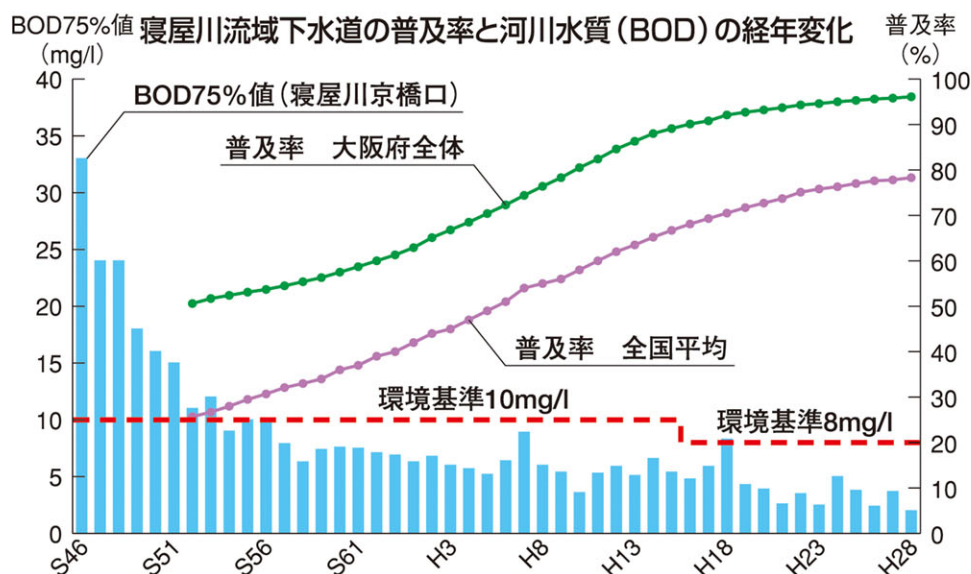
平成29年度末現在、大阪府民880万人のうち、約504万人を対象に、流域下水道事業を進めています。

平成29年度末現在



## ② 下水道の普及状況と水質

全国に先駆け昭和40年に流域下水道事業に着手し、平成29年度末現在、全市町村(33市9町1村)で公共下水道事業が実施されています。下水道普及率は96.3%(平成29年度末現在)となり、環境基準値についても概ね達成しています。



### 大阪府域の水質調査結果

平成29年度末現在

環境項目	対象水域	環境基準達成箇所数	達成率	対象箇所
BOD	81	77	95.1%	府内河川
COD	12	8	66.7%	
T-N(窒素)	3	3	100.0%	大阪湾
T-P(リン)	3	3	100.0%	

BOD : 河川の代表的な汚濁指標  
 COD : 海域の代表的な汚濁指標  
 T-N, T-P : 赤潮の発生要因物質

## ③ 高度処理の推進

大阪府では、高度処理を導入し、大阪府域の河川や閉鎖性水域である大阪湾の水質改善を図っています。高度処理の導入により、大阪湾の赤潮発生回数は、減少傾向であり、近年ではほぼ横ばい状態です。

※高度処理とは・・・

赤潮の発生要因である、窒素やリンを通常の処理方法(標準活性汚泥法)より多く取り除くことができる処理方法です。

### 大阪湾の赤潮発生回数

